

# 新鋭経営会フォーラム2023大阪

未来に挑戦し続ける中堅・中小企業の経営者がいま語る  
～元気企業の経営者の志がもたらす革新的ビジネスの展開～

- 日時： 2023年10月30日（月）13：00～17：00  
会場： 大阪大学中之島センター10階 佐治敬三メモリアルホール  
参加料： 無料  
定員： 120名  
申込〆切： 10月13日（金）  
主催： 新鋭経営会  
共催： モノづくり日本会議／日刊工業新聞社  
後援予定： 近畿経済産業局、大阪商工会議所、（公社）兵庫工業会、  
（公社）関西経済連合会、（独）中小機構・近畿本部

（定員になり次第、締め切らせていただきます。  
状況は、下記ホームページにてお知らせいたします。）

## 会場案内図

大阪大学中之島センター  
〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53  
<https://www.onc.osaka-u.ac.jp/>

- 京阪中之島線 中之島駅より徒歩約5分
- 阪神本線 福島駅より徒歩約9分
- JR東西線 新福島駅より徒歩約9分
- 大阪市バス(53系統)  
大阪駅前バスターミナル→中之島四丁目(旧玉江橋)下車 徒歩1分
- 大阪市バス(75系統)  
大阪駅前バスターミナル→田蓑橋下車 徒歩2分



## 申込方法

申込期限までに、弊会ホームページより下記必要事項を入力してお申し込み下さい。  
なお、定員になり次第締め切らせていただきますので、悪しからずご了承下さい。

- 氏名（フリガナ） ●所在地 ●年齢区分
- 業種 ●電話番号（35歳以下、36～45歳、46～54歳、55歳以上）
- 企業名 ●部署・役職 ■電子メールアドレス（Peatixへの登録）

新鋭経営会ホームページ：<http://www.new-ceo.jp>

## 開催趣旨

「新鋭経営会」は2012年4月に発足して、異業種の新進気鋭の中堅・中小企業経営者ならびに承継予定者（43社）で構成され、企業立地面からは東は東京、神奈川、長野から西は熊本まで多地域に広がっています。これまで、各社の現況紹介、専門家による経営・技術分野などの最新開発・研究の講演、企業見学会、企業共通の課題などに関するワーキンググループでの討議などの活動を続けています。そこでは多彩な経営者との出会いや相互触発の場が形成されていると評価されています。

これらの活動を通して、「より革新的で元気な企業を構築し、継続的生存と発展を実現するには、経営者には、いまだのような志・ミッションを持ち、どのようなビジネス・イノベーションに挑戦すべきか」などの企業経営のあり方について議論すると共に情報の共有を進めております。この種の課題に先導的な役割を試みている経営者の方々に本音の声を発信し、関連企業の経営者、また周辺領域企業の経営者、さらに産業界や社会にも貢献できるのではないかと狙いで、新鋭経営会ではフォーラムを企画し、これまで、大阪と東京で計6回のフォーラムを開催してきました。コロナ禍もあってしばらく休会としておりましたが、今回再開することとし、特に、ニューノーマル時代を迎えての新しい取組を積極的に推し進め、企業経営の新しい形を追求する5企業の代表者に講演して頂きます。

いずれの企業もそれぞれに特長ある経営に取り組んでおられ、多くの公的な表彰を受賞され、高く評価されています。このような背景からも、お話の内容は、単に中堅・中小企業の領域に留まらず、技術経営のあり方や将来を見据えた経営者としてのリーダーシップのあり方など、中小企業のみならず大企業の方々にも寄与するところが大きいものと推測されます。関心をお持ちの経営者、管理者、関連自治体や関係機関の方々の積極的なご参加をお待ちしています。



新鋭経営会 会長  
豊田政男  
(大阪大学名誉教授)

## プログラム

13:00～13:10 開催挨拶・新鋭経営会の目指すものとその活動

13:10～13:50 講演① 株式会社山本金属製作所 代表取締役社長 山本 憲吾 氏  
新たなものづくりシステムと市場開拓への取組み —機械加工にイノベーションを起こす—

13:55～14:35 講演② 株式会社木村铸造所 代表取締役 木村 寿利 氏  
ITを駆使した铸造技術で夢を形に —「かたち」に拘る—

14:40～15:20 講演③ 株式会社DG TAKANO 代表取締役（CEO）高野 雅彰 氏  
世界の水問題を解決する未来のライフスタイルにシフトさせる  
—研究開発とデザイン思考でゲームチェンジを起こす—

15:20～15:30 休憩及び講師面談会

15:30～16:10 講演④ 株式会社新日本テック 代表取締役社長 和泉 康夫 氏  
微細精密加工の可能性に挑戦し、豊かな未来を創造する  
—超精密金型部品加工技術と、多様な開発技術で、次世代の製品福利に貢献する—

16:15～16:55 講演⑤ 大塚産業マテリアル株式会社 代表取締役社長 大塚 誠厳 氏  
不織布成形で発想をカタチにする  
—常に未来志向の挑戦がカタチを生む。チームワークが生きる経営—

16:55～17:00 閉会挨拶 日刊工業新聞社・モノづくり日本会議代表

17:00～ 講師面談会

(1) (株) 山本金属製作所 代表取締役社長 山本 憲吾 氏

「新たなものづくりシステムと市場開拓への取組み  
—機械加工にイノベーションを起こす—」

「Intelligence Factory For the Future -機械加工にイノベーションを起こし、社会に貢献する-」を自社の使命とし、長年培ってきた精密加工技術をベースに、IoTデバイスや、ロボットシステムの開発、さらには工作機械・ロボット・計測機器等の情報をつなぐソフトウェアを自社開発し、それらと得られたデータを活用して機械加工現場のトータルソリューションサービス（LAS）を実施している。近年では切削加工や研削加工だけでなく、FSW（摩擦攪拌接合）にも展開している。弊社での取組みの紹介及び、新たな挑戦についての想いをお伝えさせていただきます。



(2) (株) 木村鋳造所 代表取締役 木村 寿利 氏

「ITを駆使した鋳造技術で夢を形に —「かたち」に拘る—」

リーマンショック以後、日本の鋳造業における鋳物生産量は、3割程度激減しております。その様な環境の中、「ITを駆使した鋳造技術」をドメインに、鋳物製品に拘らず「かたちに拘る」経営スタイルへ変革する事で、新しい事業をクリエイティブしてきました。会社の方向性マインドを切り替える事で、多くのお客様の求めるかたちに拘ることができました。そして、社内革新をすることで、「夢を形に」する鋳造技術で世界を変えようとする想いを伝えます。



(3) (株) DG TAKANO 代表取締役 (CEO) 高野 雅彰 氏

「世界の水問題を解決する未来のライフスタイルにシフトさせる  
—研究開発とデザイン思考でゲームチェンジを起こす—」

水不足の問題は深刻化しており、特にカリフォルニアでは昨年200年に一度の水不足が発生しました。しかも、この問題は世界中で広がっており、2050年には世界の人口の半数が水不足の影響を受けると予測されています。この問題を解決するためには、現在のライフスタイルから新しいライフスタイルに人々がシフトする必要があります。そのためには、人々が意識せずに自然に資源や環境負荷を減らすことができるような新しいプロダクトを生み出し、普及させる必要があります。現在のライフスタイルよりも便利でありながらも、資源の節約や環境への負荷を減らすことができるようなプロダクトを開発してゲームチェンジを起こします。



(4) (株) 新日本テック 代表取締役社長 和泉 康夫 氏

「微細精密加工の可能性に挑戦し、豊かな未来を創造する  
—超精密金型部品加工技術と、多様な開発技術で、  
次世代の製品福利に貢献する—」

モビリティの大革新や、DX、GXが普及する社会が目の前に来ています。これらを実現するために、電子部品、モータ、蓄電池などの高性能化やコンパクト化が加速しています。当社は、多くの企業や機関とも連携し、微細精密加工技術の可能性に挑戦しており、多様に高度化し、「最先端」を目指すお客様の製品づくりに貢献し、豊かな未来の創造に貢献する想いをお伝えいたします。



(5) 大塚産業マテリアル(株) 代表取締役社長 大塚 誠厳 氏

「不織布成形で発想をカタチにする  
—常に未来志向の挑戦がカタチを生む。チームワークが生きる経営—」

創業1706年、蚊帳で創業し、戦後、自動車、住宅事業に事業転換を行い、現在は自動車シートモールド副資材で国内約7割のシェアを持つまで成長してまいりました。チームワークを活かし、海外進出、自動車で培った不織布成形技術を多分野展開し、未来志向の挑戦で更なる発展を目指す熱い想いをお伝えいたします。

